

無線通信研究委員会

WP 6A

(ジュネーブ)

報告書

(案)

平成 26 年 3 月 25 日 ~ 4 月 2 日

目次

1. まえがき	1
2. 会議の概要	4
2.1 会議の構成.....	4
2.2 主要結論.....	4
(1) テレビジョン.....	4
(2) 保護.....	6
(3) 共用.....	7
(4) その他.....	9
(5) 音声.....	10
3. 審議の内容	11
3.1 テレビジョン(SWG 6A-1).....	11
3.2 保護(SWG 6A-2).....	20
3.3 共用(SWG 6A-3).....	23
3.4 その他(SWG 6A-4).....	28
3.5 音声(SWG 6A-5).....	31
5. あとがき	33
表 1 日本からの出席者 (4 名)	34
表 2 入力文書 (全 71 件)	34
表 3 出力文書一覧(全 31 件)	38

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第6研究委員会(SG 6:放送業務)の作業部会 WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日 : 2014年3月25日～4月2日(9日間)
開催地・会場 : ITU本部(スイス・ジュネーブ)
議長 : L. OLSON氏(米)
副議長 : R. BUNCH氏(豪)、M. HATE氏(英)、
A.H. NAFEZ氏(イラン)、L. ROCCHI氏(伊)、
J. SONG氏(中)
登録者 : 36ヶ国+14機関から101名(事務局除く)
日本より4名登録(4名出席、表1参照)
入力文書 : 71件(表2参照)
出力文書 : 31件(表3参照)+2件(前回会合の議長レポートからの再添付)

SG6に提出:8件

勧告改訂案 : 2件

- (1) ITU-R BT.1206-1「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」(6A/TEMP/164)
- (2) ITU-R BS.1114-7「30-3000MHz帯の移動、携帯、固定受信機. のデジタル音声放送システムデジタルラジオシステム」、ITU-R BS.774-3「VHF/UHF帯デジタル音声放送の移動、携帯、固定受信. 機のサービス要求条件」、ITU-R BS.1348-2「30MHz以下のデジタル音声放送. に対するサービス要求条件」(6A/TEMP/153)

新レポート案 : 4件

- (1) ITU-R BT.[DTTBSPECREQ]「第1地域とイランにおける470-790MHzの地上放送のための周波数要求」(6A/TEMP/181)
- (2) ITU-R BT.[FIELD_REPORTS_IMT]「放送業務と同位の一次業務として分配されたIMTの導入に関する国内事例の報告」(6A/TEMP/175)
- (3) ITU-R BT.[ACTIVE_DEVICE_MODEL]「テレビ受信システムの非直線性を考慮したテレビ放送サービスへの干渉検討に使用される参照モデル」(6A/TEMP/152)
- (4) ITU-R BT.[EMBC]「一般大衆への警報、災害軽減、救援のための放送」(6A/TEMP/156)

レポート改訂案 : 1件

- (1) ITU-R BT.2140「アナログから地上デジタル放送への移行」(6A/TEMP/169)

その他：1件

- (1) 新技術プラットフォームに関する新研究課題の提案(6A/TEMP/180)

リエゾン文書：7件

- (1) WP5Bへのリエゾン返書「全世界的な放送ローミング受信機の主要機能に関する新勧告の策定」(6A/TEMP/162)
- (2) WP5Aへのリエゾン返書「移動業務における広帯域モバイル通信をENGアプリケーションへの利用」(6A/TEMP/177)
- (3) WP1Bへのリエゾン文書「一般大衆への警報、災害軽減、救援のための放送」(6A/TEMP/157)
- (4) WP1Bへのリエゾン文書「PDNR SM.[DYNAMIC ACCESS]の作業文書」(6A/TEMP/159)
- (5) SG1へのリエゾン文書「勧告 SM.1541-5 帯域外不要発射」(6A/TEMP/158)
- (6) WP1Aへのリエゾン文書「勧告 ITU-T K.60 と K.mhn 有線と無線通信の共存」(6A/TEMP/179)
- (7) ITU-D SG2へのリエゾン文書「一般大衆への警報、災害軽減、救援のための放送」(6A/TEMP/161Rev1)

継続審議：17件

新勧告草案：1件

- (1) ITU-R BT.[R-WBR]「全世界的な放送ローミング受信機の主要機能」(6A/TEMP/163)

勧告改訂草案：4件

- (1) ITU-R BT.1306-6「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」(議長レポート再添付)
- (2) ITU-R BT.1368-11「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」(6A/TEMP/171)
- (3) ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」(議長レポート再添付)
- (4) ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求条件」(6A/TEMP/176)

新レポート草案：3件

- (1) ITU-R BT.[TVSFPQEF]「映像破たん閾値とC/Nの関係」(6A/TEMP/165)
- (2) ITU-R BT.[Green_Broadcasting]「環境に配慮した放送システム(Green Broadcasting)」(6A/TEMP/154)

- (3) ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS] 「地上放送サービスに利用されている帯域へのコグニティブ無線の導入に関連した両立性と各国のアプローチ」(6A/TEMP/160)

レポート改訂草案：1件

- (1) ITU-R BT.2265 「放送業務への干渉評価ガイドライン」(6A/TEMP/174)

作業計画：1件

- (1) 「WP6AでのWRC-12の決議・勧告に関連した研究の作業計画」更新(6A/TEMP/178)

ラポータ／ラポータグループ設置：1件

- (1) レポートITU-R BT.2215 「TV受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」改訂の為のラポータグループの設置(6A/TEMP/168)

コレスポンドランスグループ設置：1件

- (1) “風力発電所による地上デジタル放送への妨害評価”に関して、既存の勧告を改訂するのか、新規に勧告かレポートを作成するのかを検討するCGの設置(6A/TEMP/166)

作業文書：5件

- (1) 勧告改訂草案BT.2033 「VHF/UHF帯の第2世代地上デジタル放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」に向けた作業文書(6A/TEMP/170)
- (2) 新レポート草案ITU-R BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION] 「地上デジタルTV受信機への一般的な干渉」に向けた作業文書(6A/TEMP/173)
- (3) 新レポート草案BT.[SFN] 「SFNの設計と適用」に向けた作業文書(6A/TEMP/172)
- (4) 新勧告草案 “風力発電所による地上デジタル放送への妨害評価” に向けた作業文書(6A/TEMP/167)
- (5) 新レポート草案ITU-R BS.[DSB-TRANSITION] 「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」に向けた作業文書(6A/TEMP/155)

その他：1件

- (1) WP6A議長レポートテキスト(6A/TEMP/182)

2. 会議の概要

2.1 会議の構成

以下の5つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)構成で審議にあたった。

SWG 6A-1	テレビ	議長：A. Nafez氏(イラン)
SWG 6A-2	保護	議長：M. Hate氏(英)
SWG 6A-3	共用	議長：D. Barret氏(FreeTV Australia)
SWG 6A-4	その他	議長：M. Mullinix氏(米)
SWG 6A-5	音声	議長：J. Song氏(中)

2.2 主要結論

(1) テレビジョン

- ・ 勧告改訂案ITU-R BT.1306「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」

前会合で、中は新しい地デジ方式(DTMB-A)を勧告BT.1306 に追加する提案をした。第1世代のシステムとして規定するのか、第2世代のシステムとして勧告BT.1877に規定するのかを検討したが結論を持ち越し、継続審議となった。

日は、新たに提案される伝送システムについては、明確な数値規定ではないが、第2世代伝送システム勧告記載の定義「第1世代の伝送特性(周波数利用効率、所要C/Nなど)を超えるシステムを第2世代伝送システムとみなす」に沿って議論されることを提案した。また、DTMB-Aは、第1世代よりも伝送特性が優れており、DVB-T2と同等の特性と考えられるため、第2世代のシステムとして議論されることを提案した。

中は政府が、国内の会合でDTMB-Aを第1世代に入れるべきとの判断をしたことを説明し、日の寄与文書に対しては、勧告BT.1877の定義には第1世代か第2世代かを分類するための定量的な基準値が無いと指摘した。また、第3世代が出てきた場合の取り扱いも考える必要がある。放送システムの世代を決めるのかは誰が決定の責任を負うのか、第1世代か第2世代かを分ける基準値をどうするのかを明確化する必要があると述べた。

DTMB-Aは実験データや参考文献が足りないため、今回はこのまま議長レポート添付とし、中に次会合までにDTMB-Aに関する実験データや参考文献の入力を求め、それらの情報をもとに第1世代か、第2世代かを議論することとなった、また、新地デジ伝送システムの勧告への割り当てに関する課題は、DTMB-Aに限定したものではなく、将来の新しい方式についても同様の議論になるため、他国の意見も求めることになった。

- ・ 勧告改訂案ITU-R BT.1368「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」

日は、ボツワナの地デジ日本放送方式採用に伴い、ボツワナで使用されているPAL/Iアナログ方式とISDB-T(8MHz)の混信保護比を追加する提案を行い、特に異論は無かった。

CBSは、ATSC受信機での測定結果として、異なるチャンネルで送信される2つの妨害波に対する混信保護比、その際の最小受信機入力レベル(感度抑圧特性)の追加を提案した。

コロンビアは、ISDB-T(6MHz)とDVB-T2(6MHz)の混信保護比を第2世代地デジのプランニング基準勧告BT.2033に追加する提案をした。しかし、日が「希望波が第1世代の地デジ信号の場合は第1世代のプランニング基準勧告BT.1368に記載すべきである」とする寄書を提出し、合意された為、希望波ISDB-Tと妨害波DVB-T2の混信保護比は勧告BT.2033ではなく勧告BT.1368に記載することとなった。また、日は、混信保護比がISDB-T受信機1台のみでの測定結果であり、受信機の個体差を考慮して複数の受信機で測定すべきで、今回は、これらの値を[]を入れた形で暫定値とし、今後検証することを提案し、合意された。

日とCBSの提案は合意が得られたが、3つの提案をマージした勧告改訂草案は議長レポート添付となり継続審議となった。

・新レポート案BT.[TVSFPQEF]「映像破たん閾値とC/Nの関係」

英は、ネットワーク構築の際の保護基準などを検討する上での実践的な測定手法の助けとなることを目的に、TV受信機テストにおける、映像評価(画像破たん)とBER、C/Nの関係性について、DVB-TとDVB-T2受信機の実験結果に基づくデータをまとめた新レポートの策定を提案した。CBSは、この寄書を支持し、ATSCでも同様の実験結果を提供したいと述べた。

英の提案は、新レポート草案として議長レポート添付とし、他のシステムからの入力を求めることとなった。

・新技術プラットフォームに関する新研究課題の提案

前回のSG6会合で、ラポータグループ(議長：SG6議長、メンバー：WP6A、6B、6Cの議長)が設置され、放送番組をいつでも・どこでも・様々な受信機で視聴したいとする視聴者の期待に応えるための新技術プラットフォームに関する新研究課題について検討することになった。

ラポータグループは、地上・衛星・ケーブルTV放送、固定・移動通信に対応し、UHDTV、3D、双方向サービスなどの最新技術を集積したプラットフォームの検討が必要であると、次のような課題の提案を行った。「放送番組やマルチメディアコンテンツを、放送や通信回線を効率よく使い、視聴者の要求やライフスタイルに合致した形で、視聴者に届けるために必要な技術」、「新しいシステムに

対する、ユーザー、国、周波数の観点からの要求」、「技術を選ぶ際の評価方法や基準」、「検討結果をレポートや勧告に含めること」、「関連するSGやセクターと協力して作業を進めること」、「2016年までに、これらの作業を完了すること」。

SG6議長が、受信映像を環境などに応じて提示する技術などを新プラットフォームに組み込むこと、その為のキーとなる映像パラメータ値を拡張することなどをconsideringに追加する修正を行い、修正版の研究課題案が同時開催のWP6B会合のプレナリで審議された。WP6Bの修正案は多くがエディトリアルなものであったが、その後、米と露がオフラインで修正案について協議し重複部分、曖昧な表現、技術の例示(ヘッドマウントディスプレイ等)など一般性を欠く表現について見直しを行い、再度WP6Aで審議した。

米は、ITU-R SG-4, 5, ITU-T SG15, ITU-D SG2 に対し情報提供し、コメントをもらってからWP6Aでの採択、SG6での承認をすべきではないかと提案し、加が支持した。露は、研究はSG6が始めるのであり、問題が発生した場合にLSを送付すればよく、まず採択、承認するべきとコメントし、イランが露を支持した。加は、文書にbroadband を使っておりSG5の意見が必要と発言した。英は、コンテンツ生成についてはSG6の所掌である事実は変わらないことからSG6送付を支持した。議論の結果、研究課題案はSG6への送付されることになった。

(2) 保護

- ・新レポート案「テレビ受信システムの非直線性を考慮したテレビ放送サービスへの干渉検討に使用される参照モデル」

Rai Wayから入力されたIMT等からの干渉波によるアンテナ直下のヘッドアンプの非直線性による混変調などの影響を記載したものである。当初、勧告化を提案していたが、前回会合でレポート化に変更することが合意され議長レポートに添付されていた。今会合では、他に寄書が無かったため、特段の議論なくプレナリでSG6送付が承認された。

- ・新レポート案ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS] 「地上放送サービスに利用されている帯域へのコグニティブ無線の導入に関連した両立性と各国のアプローチ」

コグニティブ無線(CRS)に関するレポートは、前回会合で、レポートのAnnexに地上放送の周波数帯へのCRSの導入に関する複数の国内検討事例を紹介できるアンブレラドキュメントを作成し、各国からの寄与を求めることとなり、議長レポートに添付されていた。今会合で米よりAnnexの追加提案があったが、更なる寄与を求めるとして、議長レポート添付として、次回の会合で引き続き議論することになった。

- ・SG1 へのリエゾン文書草案「勧告 ITU-R SM.1541-1-5」

議長が、前回会合の議長レポートに添付されたスペクトルマスク勧告SM.1541の内容更新に関するリエゾン文書案について、英は、勧告SM.1541のスペクトルマスクは無線通信規則に直結する厳密なマスクであり、厳しい保護を課すリスクとなりうるので、この内容の更新を求めるリエゾン文書の送付には慎重になるべきとした。中は、DTMBのマスクの追加提案をしていたが、勧告SM.1541から特定マスク勧告BT.1206への参照が既にあるので、リエゾン文書送付にこだわらないと発言して、SG1 に対し勧告SM.1541 からBT.1206-1 を参照する改訂を行った対する謝意と、最新版のBT.1206(バージョン番号無し)を参照するエディトリアル修正を行う依頼のリエゾン返書を送付することになった。

- ・WP1Bへのリエゾン文書草案「勧告草案の作業文書 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]

コグニティブ無線の定義について、WP1Bでは、Dynamic Spectrum Access (DSA)が使われているとの情報があったが、DSAは一般的な使われ方をしており、どの業務でもあてはまる一方、WP6Aの場合は、地理的・放送帯域が限定されている事から、DSAという語が適切か議論となった。ある1点の地域では静的動作ではあるが、デバイスが移動すると周波数を変える必要があるとの意見があり、DSAで良いとする意見がある一方、変更不要との意見もあった。さらに、文末にある、[on a national basis]の意図について確認する意図を付し、“DSAについては、反対はないが、CRSを長い期間使ってきたことを考慮し、WP6Aではこのまま使い続ける”とし“放送に特化した用語は必要な時に見直す”とするリエゾン文書をWP1Bに送付することになった。

- ・WP1Aへのリエゾン文書草案「勧告 ITU-T K.60 と K.mhn 有線と無線通信の共存」

ITU-T SG-5で議論されている有線通信と無線通信の共存についての勧告 K.60, K.mhnについて以下の点を記載したリエゾン文書を送付することとなった。勧告 ITU-T K.60にある、曖昧な点、矛盾点、例えば、苦情手続きについて記載している一方で、Regulatory Bodyの設置は考慮していない事についてこの明確化を求める。勧告 K.mhnは、Radio deviceの定義について記載してあるが、放送の受信機は、送信機能が無いことから定義の修正を求める。

(3) 共用

- ・新レポート草案「第1地域とイランにおける470-790MHzの地上放送のための周波数要求」

当初、WRC-15 議題 1.2 についてアンケートを行った結果であり、多くの結果が JTG4-5-6-7 に送られたが、SG6 としてレポートの形で残す事が議論され、今会合での入力文書 1 件をマージし、DGにてドラフティングが行われた。当初のレポートタイトルの周波数は 694-790MHzであったが、イランがUHF帯すべての放送に関連する周波数帯が対象であるとして 470-790MHzとすることを提案したが、米などが反対した。WP6Aプレナリまで議論され最終的に 470-790MHzとなった。SG6 へ送付されることとなった。(対応DG : DG6A3-A)

・ レポートITU-R BT.2265 改訂草案「放送業務への干渉評価ガイドライン」

放送に対する干渉評価についてのレポートの改訂草案であり、前回議長レポートに 3 カ国(仏、独、スイス)連名の入力文書がマージされた。CBS、蘭、仏、独、スイスなどこれまでに入力のあった国の関係者の間でオフラインにて協議が行われ、最終的に議論の対象となる点が整理された。仏、独、スイスは今会合で多くの問題が解決されたとし、次回の改訂でレポート制定時に付した保留(reservation)を削除する予定であるとした。残った課題は次回会合で議論することとされ、WP6Aプレナリにて議長レポート添付が承認された。(対応DG : DG6A3-B)

・ 新レポート草案「放送業務と同位の一次業務として分配されたIMTの導入に関する国内事例の報告」にむけた作業文書

放送業務と移動業務がCo-primaryとなっている帯域についての各国の経験について記載したIMT導入の新レポート案であり、前回会合で独が入力した文書が基となり、継続審議となっていた。今会合で仏と蘭が自国の事例を入力したほか、独は今会合でのレポート成立を提案する文書を入力した。蘭の内容は未完部分が多く、将来更新が期待されるとし蘭も同意したが、独の事例に加え、今回の仏と蘭の文書がマージされた。また、デンマークが自国の事例を追加する可能性があると発言した。今会合でのレポート化にはイランが強く反対したが、レポートが初期段階であることを強調する文言を盛り込むことで最終的にレポート化に同意した。SG6 へ送付された。(対応DG : DG6A3-B)

・ 勧告ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求条件」改訂草案

放送業務、移動業務、固定業務等の帯域で運用される放送補助業務、番組制作補助業務(SAB/SAP, PMSE)として利用されるワイヤレスマイク(日国内ではラジオマイクと呼ばれる)のユーザー要求条件を規定した勧告BT.1871 の改訂草案である。2011 年 4 月春会合で豪、11 月秋会合でZDFから改訂提案があり、議長レポート添付となっていた。今会合で日、加、韓から入力された自国の周波数情報

がマージされた。特に議論はなく、更なる情報提供を求めて議長レポートに添付されることとなった。(対応DG : DG6A3-C)

- ・WP5Aへのリエゾン返書草案「移動業務における広帯域モバイル通信をENGアプリケーションへの利用」

WP5Aからの「ENG勧告 ITU-R M.1824 の改訂を検討しており、現在作業文書が作成されている事を述べた上で、この中で広帯域モバイル通信(MBB)をENGアプリケーションへの利用を検討している」とするリエゾン文書に対しての返書となる。情報提供に感謝し、引き続き情報提供を要望する内容にてWP5A(コピーをWP5C、5D)へのリエゾン送付が承認された。(対応DG : DG6A3-C)

- ・「WP6AでのWRC-12 の決議・勧告に関連した研究の作業計画」更新

DG議長の作成したWRC-12 決議・勧告に関連する検討の作業計画更新案を審議した。WP6Aの活動状況に、NDRがレポートBT.2215 の改訂を追加することを提案し、来年の2月までに完成とすることで合意された。他一部エディトリアル修正の上、議長レポート添付が承認された。(対応DG : DG6A3-D)

(4) その他

- ・CCVからの用語の問い合わせ

CCVより、以下の4語(Modulation Error Ratio, Encapsulation function, Delivery function, Control function)について問い合わせがあった。いずれもBT勧告で用いられているものであり、問題無いとしてNotedとされた。

- ・新レポート案 「一般大衆への警報、災害軽減、救援のための放送」

2011年4月会合で、レポート作成に向けたラポータが2名指名され、災害時の放送の果たす役割についての情報の取りまとめを進めて来た。日からもNHKと民放が東日本大震災での放送の役割や、石巻災害FMの情報を寄与した。タイトルなどエディトリアルな修正の上、プレナリで承認され、SG6へ送付された。さらにレポート承認について、WP1BとITU-D SG2へ承認を周知するリエゾン文書を送付することとなった。

- ・新レポート案ITU-R BT.[Green_Broadcasting] 「環境に配慮した放送システム (Green Broadcasting)」

NHKと民放の中波放送所に設置された太陽光発電システムを紹介した新レポート案の作業文書提案は、SG6議長からレポート化への強い支持があった。引き続き寄与を求めるために議長レポートに添付されることになった。

(5) 音声
特になし

3. 審議の内容

3.1 テレビジョン(SWG 6A-1)

SWG6A-1 では、7 回のSWG会合で 23 件の入力文書を審議し、16 件のTEMP文書を承認した。1 件の勧告改訂案、1 件のレポート改訂案、1 件の新研究課題案、1 件のリエゾン文書、1 件のラポータ・ラポータグループ設置を含む 12 件の議長レポート添付文書を出力した。

○伝送システム

・勧告改訂草案ITU-R BT.1206-1

入力文書：6A/360 Annex 2 (前回議長レポート)

出力文書：6A/TEMP/164(SG6 送付)

審議結果：

地上デジタルテレビジョン放送のスペクトルマスクのITU-R勧告BT.1206-1「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」の改訂に関する審議である。

前回会合で、中(6A/303)は、勧告BT.1206-1 に、6、7MHzのチャンネル帯域幅に対応したSystem D(DTMB)のスペクトルマスクを追加することを提案し、提案内容はそのまま勧告改訂草案として議長レポート添付となっていた。

本件に関する寄書はなく、中は完成版となっているので先の手続きに進めてほしいと発言したため、中の提案を承認し、勧告改訂案(6A/TEMP/164)としてSG6 に送付することとした。

・勧告改訂草案ITU-R BT.1306-6

入力文書：6A/360 Annex 3 (前回議長レポート) 6A/389 (日)

出力文書：議長レポート再添付

審議結果：

地上デジタルTV放送の伝送システム勧告BT.1306「地上デジタル放送の誤り訂正、データフレーム、変調、送信方法」の改訂提案に関する審議である。

前会合で、中は新しい地デジ方式(DTMB-A)をBT.1306 に追加する提案をした。第1世代のシステムとして規定するのか、第2世代のシステムとして勧告BT.1877 に規定するのかを検討したが結論を持ち越し、継続審議となった。なお、日が提案した、標準的なマスクと地域に特化したマスクを記載した2つの勧告の関係を明確化する説明をBT.1306 に追加する件は既に合意が得られている。

日(6A/389)は、新規提案される地上デジタル放送伝送システムの既存勧告への割り当ての明確化について、次の提案をした。勧告BT.1877 では、明確な数

値規定ではないが、第1世代の伝送特性(周波数利用効率、所要C/Nなど)を超えるシステムを第2世代伝送システムとみなすと記載している。そこで、新たに提案される伝送システムについては、第2世代伝送システム勧告記載の定義に沿って議論されること。また、DTMB-Aは、第1世代よりも伝送特性が優れており、DVB-T2と同等の特性と考えられるため、第2世代のシステムとして議論されること。

中は政府が、国内の会合でDTMB-Aを第1世代に入れるべきとの判断をしたことを説明し、日の寄与文書に対しては、勧告BT.1877の定義には第1世代か第2世代かを分類するための定量的な基準値が無いと指摘した。また、第3世代が出てきた場合の取り扱いも考える必要がある。放送システムの世代を決めるのかは誰が決定の責任を負うのか、第1世代か第2世代かを分ける基準値をどうするのかを明確化する必要があると述べた。

議長は、DTMB-Aは実験データや参考文献が足りないため、今回はこのまま議長レポート添付とし、中に次会合までにDTMB-Aに関する実験データや参考文献の入力を求め、それらの情報をもとに第1世代か、第2世代かを議論したいと発言した。

日は、議長提案を支持し、日の寄書はDTMB-Aに限定したものではなく、将来の新しい方式についても同様の議論になるため、世代の分類基準を明確にするのが目的なので、他国の意見も求めたいと発言した。仏は、中の誰が世代分類の責任を負うのか、定量的な分類基準はどうするのかという問いに賛成し、携帯電話の3Gや4Gのような分類ができることを期待すると述べた。

議論の結果、6A/360 Annex3は、再度議長レポート添付とし、問題提起することとした。

○プランニング

・勧告改訂草案ITU-R BT.1368-11

入力文書：6A/390(日)、6A/401(CBS)、6A/403(コロンビア)

出力文書：6A/TEMP/171(議長レポート添付)

審議結果：

地上デジタルテレビジョンのプランニング基準を規定する勧告ITU-R BT.1368「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂提案に関する審議である。

日(6A/390)は、ボツワナの地デジ日本放送方式採用に伴い、ボツワナで使用されているPAL/Iアナログ方式とISDB-T(8MHz)の混信保護比を追加する提案を行った。特に異論は無かった。

CBS(6A/401)は、ATSC受信機での測定結果として、異なるチャンネルで送

信される2つの妨害波に対する混信保護比、その際の最小受信機入力レベル(感度抑圧特性)を追加する提案をした。加は、妨害波が2波の場合の混信保護比の追加に反対は無いが、複数波の干渉は複雑であり実際の運用については懸念があるとコメントした。

コロンビア(6A/403)は、ISDB-T(6MHz)とDVB-T2(6MHz)の混信保護比を第2世代地デジのプランニング基準勧告BT.2033に追加する提案をした。しかし、日(6A/391)が、希望波が第1世代の地デジ信号の場合は第1世代のプランニング基準勧告BT.1368に記載すべきであると提案し、合意された為、希望波ISDB-Tと妨害波DVB-T2の混信保護比は勧告BT.2033ではなく勧告BT.1368に記載することとなった。また、日は、混信保護比がISDB-T受信機1台のみでの測定結果であり、受信機の個体差を考慮して複数の受信機で測定すべきで、これらの値を[]を入れた形で暫定値とし、今後検証することを提案し、合意された。

日とCBSの提案は合意が得られたが、3つの提案をマージした勧告改訂草案は議長レポート添付(6A/TEMP/171)となり継続審議となった。

・勧告改訂草案ITU-R BT.2033に向けた作業文書

入力文書：6A/391(日)、6A/403(コロンビア)

出力文書：6A/TEMP/170(議長レポート添付)

審議結果：

第2世代地上デジタル放送システムのプランニング基準勧告BT.2033「VHF/UHF帯の第2世代地上デジタル放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂提案に関する審議である。

地デジの方式には第1世代と第2世代があり、混信保護比の勧告も同様に2種類が存在し、それぞれ勧告BT.1368と勧告BT.2033である。例えば、ISDB-T対DVB-T2など世代が違う方式どうしの場合、混信保護比をどちらの勧告に記載するかは、これまでは明確でなかった。そこで、日(6A/391)は、「希望波が第1世代の場合はBT.1368に、第2世代の場合はBT.2033に記載してはどうか」という提案を行った。非常に明確な定義であるとして、提案内容はNotedとされ、続けて説明されたコロンビアの提案に適用されることとなった。

コロンビア(6A/403)は、唯一6MHzのDVB-T2を採用していることから、勧告BT.2033に新たにAnnex6を用意し、6MHz帯域幅のDVB-T2のプランニング基準を追加する提案をした。プランニング基準として、希望波DVB-T2と妨害波DVB-T2・ISDB-T、希望波DVB-T2と妨害波NTSC、希望波ISDB-Tと妨害波DVB-T2、希望波NTSCと妨害波DVB-T2の混信保護比を提案した。その内、ISDB-Tを希望波とするDVB-T2との混信保護比を、日の提案(6A/391)の方針に

従って勧告BT.1368に移した上で、議長レポート添付することを希望した。

SG6 議長から、既存のAnnex1にあるDVB-T2の混信保護比ではなく、新たにAnnexを用意してDVB-T2 6MHzの混信保護比を追加する理由について質問があり、コロンビアは6MHzと8MHzでは値が異なることなどを理由にAnnex6に追加する形を希望した。Annex1との違いを明確化するために、Annex1のタイトルに7MHzと8MHzを追加することになった。

議論の結果、Annex1のタイトルを変更し、第1.3章「ISDB-Tを希望波とする、DVB-T2との混信保護比」を削除した勧告改訂提案に向けた作業文書を議長レポート添付(6A/TEMP/170)することとなった。コロンビアは次回会合での採択を希望している。

なお、日はBT.1368に移す混信保護比がISDB-T受信機1台のみでの測定結果の値であり、受信機の個体差を考慮して複数の受信機で測定すべきと発言し、これらの値はペンディングとなった。

・勧告改訂草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]

入力文書：6A/360 Annex 5(前回議長レポート)

出力文書：議長レポート再添付

審議結果：

勧告ITU-R BT.2016に記載される各システムのプランニング基準を提供する勧告ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」の改訂提案に関する審議である。

前回会合で、日のISDB-Tマルチメディアと韓のT-DMB/AT-DMBの2方式によるプランニング基準勧告が新たに策定された。一方で、露がDVB-T2 Liteのプランニング基準を初めて提案したが、一部の伝送パラメータにおける混信保護比がTBDとなっており、更なる精査が必要なため、議長レポート添付(6A/360 Annex 5)となっていた。

今会合では、議長レポートに対する寄書が無かったが、露提案のDVB-T2 Liteのプランニング基準については更なる情報、議論が必要であるため、再度議長レポート添付することとなった。

○受信特性

・新レポート草案ITU-R BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION]に向けた作業文書

入力文書：6A/360 Annex 11(前回議長レポート)、6A/395(仏)

出力文書：6A/TEMP/173(議長レポート添付)

審議結果：

前回会合で、英(6A/333)はモンテカルロ法を用いた干渉検討に関連したDVB-T2 受信機のエラー継続のメカニズムについて報告し、NDF/ZDF(6A/349)はDVB-T/T2 受信機への干渉による影響の概要を述べた。この2つの寄書をマージし一つのレポート作成を目指して議長レポート添付(6A/360 Annex 11)となっていた。

仏は(6A/395)において、IMT携帯端末からDTTB受信に対する帯域外放射と短時間パルス干渉の評価のための測定方法・結果を、新レポートに追加する提案を行った。NDRは、この新レポートは一般的な説明が含まれるべきでレポートBT.2215との重複は避けるべきであり、仏提案部分はIMTではなく一般的とするために再構成が必要で、混信 保護比等の実際の値はBT.2215に含むべきとコメントした。

仏の提案を追加したレポート案の修正に関する議論は、本会合で収束しなかった為、次回会合までにオフラインで関係者がレポートの構成などを協議することとなった。仏の提案を追加した文書は、新レポート草案に向けた作業文書(6A/TEMP/173)として議長レポート添付されることとなった。

・映像破たん閾値に関する暫定レポート草案

入力文書： 6A/379(英)

出力文書： 6A/TEMP/165(議長レポート添付)

審議結果：

英(6A/379)は、ネットワーク構築の際の保護基準などを検討する上での実践的な測定手法の助けとなることを目的に、TV受信機テストにおける、映像評価(画像破たん)とBER、C/Nの関係性について、DVB-TとDVBT-2 受信機の実験結果に基づくデータをまとめた新レポートの策定を提案した。本レポートでは、ノイズやマルチパス、干渉がある中でのDTT受信機の性能決定のため、TVメーカーで用いられる異なった測定手法の情報も提供している。

仏は、バースト干渉についても検討が必要と発言したが、英は、静的条件のみの測定結果であり、勧告BT.1368、BT2033でもバースト干渉は除外されていると回答した。RaiWayは、映像ビットレートが結果に影響してくるため、テストで用いた映像のビットレートの情報が必要であるとコメントした。CBSは、この寄書を支持し、ATSCでも同様の実験結果を提供したいと述べた。

議論の結果、英の提案は、新レポート草案BT.[TVSFPQEF]「映像破たん閾値とC/Nの関係」(6A/TEMP/165)として議長レポート添付し、他のシステムからの入力を求めることとなった。

・レポート改訂草案ITU-R BT.2215-3

入力文書： 6A/360 Annex 15(前回議長レポート)、6A/395(仏)、6A/398(加)、
6A/400(CBS)

出力文書： 6A/TEMP/168(ラポータの設置)

審議結果：

テレビジョン放送受信機における混信保護比と過入力閾値の測定についてのレポートITU-R BT.2215「TV受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」の改訂に関する審議である。現在、レポートBT.2215のAnnex1にDVB-TやLTEからの妨害に対するDVB-T受信機特性の測定、Annex2にDVB-T2やLTEからの妨害に対するDVB-T2受信機特性が記載されている。

前回会合で、露(6A/308)と英(6A/334)がLTE共用に関わる最新DVB-T2受信機の特性に関する測定結果を提案したが、議論する時間がなく、議長レポート添付(6A/TEMP/165)となっていた。

仏は、IMT携帯端末からDTTB受信に対する帯域外放射と短時間パルス干渉の評価のための測定方法・結果を記載した(6A/39Annex4)をレポートBT.2215に追加する提案をした。NDR、SWG議長は、Annex4の情報は多すぎるため、追加する情報を絞り込むべきと発言した。

加(6A/398)は、市販されているATSC受信機の隣接妨害波特性の測定結果を次回会合で報告する予定の為、レポートBT.2215の改訂は次回号まで待つことを提案した。また、レポートの中で幾つかのITU-Rドキュメントへのリンクが張られているが、リンクではなく直接文書をレポートに記載することを提案した。

CBS(6A/400)は、新たにAnnex3を追加し、複数の妨害波に対するATSC受信機特性の測定方法と測定結果を記載することを提案した。米は、混信保護比の値の計算は、脚注のどのリファレンスを参照したのかと質問し、CBSは、混信保護比は測定値であると回答した。加は、現在1波干渉しか検討していないが、将来はCBS同様、複数波の干渉の影響を測定する予定があると述べた。CBSは更に、測定結果は、参考文献2を参考にしたとコメントした。

レポートの構成の見直し等を検討する必要があるため、ラポータとしてEinoff氏(CBS)を指名して、前回会合の2つの寄書と共に、次回会合での完成に向けてレポート改訂作業を進めることになった。

OSFN

- ・新レポート草案“SFNの設計と適用”に向けた作業文書

入力文書： 6A/360 Annex 17(前回議長レポート)、6A/394(ラポータグループ)

出力文書： 6A/TEMP/172(議長レポート添付)

審議結果：

地上デジタルテレビジョン放送や地上デジタル音声放送などのデジタル放送のSFNの設置、導入、運用に関する新レポート草案に向けた作業文書の審議である。

前回会合で、SFNを運用している国や受信機からSFNの設計や導入に関する情報を集め、SFNの設計と導入に関する新レポート草案を準備するために、ラポータグループが設置された。

ラポータグループ(6A/394)は、SFN設計などの寄書の集約を進め作成した新レポート草案の作業文書を提案した。

特に議論はなく、新レポート草案BT.[SFN]に向けた作業文書として議長レポート添付(6A/TEMP/172)されることとなった。

○風力発電所があるときの電波伝搬

- ・新勧告草案 ” 風力発電所による地上デジタル放送への妨害評価” に向けて

入力文書：6A/368(バスク大学)、6A/369(バスク大学)

出力文書：6A/TEMP/166(CG設置)、6A/TEMP/167(議長レポート添付)

審議結果：

複数の風力発電所による地上デジタル放送への妨害評価に関する新勧告の策定に関する審議である。

バスク大学(6A/368)は、複数の風力発電がある場合の伝搬特性を特徴づけるチャンネルモデル、散乱がある場合のチャンネルモデル、ドップラーが生じているときのドップラースペクトルモデルの提案と、UHF帯のDTV受信品質への潜在的影響に関して解析した結果について報告した。

また、バスク大学(6A/369)は、(6A/368)の内容に関する新勧告を策定することを提案した。

SWG議長は、新勧告を策定するのではなく、勧告BT.1893「風力発電によって引き起こされるデジタルテレビジョン放送受信の妨害評価法」への追加改訂を提案した。伊は新勧告とするにはバスク大学だけしか入力していないことに懸念があり、SWG議長の提案を支持した。一方、豪は、提案内容が勧告BT.1893とMethodology(手法)が異なるため既存勧告の改訂に反対した。

議論の結果、バスク大学のGuerra氏を議長とするCGを設置(6A/TEMP/166)し、既存の勧告を改訂するのか、新規に勧告かレポートを作成するのかを検討することになった。また、(6A/369)は、CGの決定に対応できるタイトルで議長レポート(6A/TEMP/167)に添付することになった。

○デジタル移行

- ・レポート改訂草案ITU-R BT.2140-6

入力文書：6A/386(中)

出力文書：6A/TEMP/169(SG6 送付)

審議結果：

地上放送のアナログからデジタルへの移行に関する各国の状況をまとめたレポートITU-R BT.2140「アナログから地上デジタル放送への移行」の改訂提案に関する審議である。

中(6A/386)は、中の事例にパートに、system D(中方式)を採用した香港の事例の追記を提案した。香港では人口カバー率 99%、世帯カバー率 80%を達成したとしている。

特に異論なく、レポート改訂案(6A/TEMP/169)としてSG6 に送付することとなった。

○放送ローミング

・新勧告草案ITU-R BT.[R-WBR]に向けた作業文書

入力文書：6A/360 Annex 10(前回議長レポート)、6A/361(WP6B)、6A/362(WP5B)、6A/381(ラポータグループ)

出力文書：6A/TEMP/162(リエゾン文書)、6A/TEMP/163(議長レポート添付)

審議結果：

全世界的な放送ローミング受信機の主要機能を示した新勧告草案ITU-R BT.[R-WBR]「全世界的な放送ローミング受信機の主要機能」に向けた作業文書に関する審議である。

前回会合で全世界的な放送ローミング受信機の主要機能を検討するラポータグループ(2013年WP6A春会合で設立)が提案した作業文書案について、各主管庁、セクターメンバーからの寄与を求めため議長レポート添付(6A/360 Annex 10)としていた。

RG(6A/381)は、全世界的な放送ローミングに関する研究の次のステップは、ローミング受信機が適用する放送システム勧告の策定であるとし、作業文書から新勧告草案に格上げすること、considering(考慮すべき事項)に、放送ローミング受信機の必要条件が放送システムや受信ネットワークの発展を考慮していることなどを追加する提案した。

WP6B(6A/361)は、全世界的な放送ローミング受信機でのメタデータ要件について情報を求めるWP6Aからリエゾン文書に対して回答した。WP6Bからの提案内容は(6A/381)の第3章に殆ど含まれているため、このリエゾン文書に関しはNotedとし、リエゾン返書は作成しないことになった。

WP5B(6A/362)は、航空移動業務の飛行音声通信で使用されているHFやVHF帯について、幾つかの主管庁が民間による通信サービスを法的に規制している

ことをSG6に注意喚起した。SG6議長は、WBR受信機が一般向けに受信されることを想定していないものを受信する機能があることをWP5Bが懸念している。20年前にFM周波数帯が100から108MHzに拡大されたときにはその帯域は既存業務で使用されていた例もあるため、WP5Bの懸念を共有する必要があるとコメントした。

議論の結果、一般向けでない信号を受信しないという要求条件を追加した、WP6AからWP5Bへのリエゾン文書(6A/TEMP/162)はコンタクトパーソンをラポータ議長(DVORKOVICH Alexander氏(露))として送付され、新勧告草案(6A/TEMP/163)は議長レポート添付されることになった。

○研究課題

・新技術プラットフォームに関する新研究課題の提案

入力文書：6A/410(ラポータグループ)

出力文書：6A/TEMP/180(SG6送付)

審議結果：

リニア/ノンリニアな放送番組をいつでも・どこでも・様々な受信機で視聴したいとする視聴者の期待に応えるための新技術プラットフォームに関する新研究課題についての審議である。

前回のSG6会合でRG(議長：SG6議長、メンバー：WP6A、6B、6Cの議長)が設置され、新研究課題案を作成することになった。

ラポータグループ(6A/410)は、地上・衛星・ケーブルTV放送、固定・移動通信に対応し、UHDTV、3D、双方向サービスなどの最新技術を集積したプラットフォームの検討が必要であると、次のような課題の提案を行った。「放送番組やマルチメディアコンテンツを、放送や通信回線を効率よく使い、視聴者の要求やライフスタイルに合致した形で、視聴者に届けるために必要な技術」、「新しいシステムに対する、ユーザー、国、周波数の観点からの要求」、「技術を選ぶ際の評価方法や基準」、「検討結果をレポートや勧告に含めること」、「関連するSGやセクターと協力して作業を進めること」、「2016年までに、これらの作業を完了すること」。

SG6議長が、受信映像を環境などに応じて提示する技術などを新プラットフォームに組み込むこと、その為のキーとなる映像パラメータ値を拡張することなどをconsideringに追加する修正を行い、修正版の研究課題案が同時開催のWP6B会合のプレナリで審議された。WP6Bの修正案は多くがエディトリアルなものであったが、その後、米と露がオフラインで修正案について協議し重複部分、曖昧な表現、技術の例示(ヘッドマウントディスプレイ等)など一般性を欠く表現について見直しを行い、再度WP6Aで審議した。

米は、ITU-R SG-4, 5, ITU-T SG15, ITU-D SG2 に対し情報提供し、コメントをもらってからWP6Aでの採択、SG6 での承認をすべきではないかと提案し、加が支持した。露は、研究はSG6 が始めるのであり、問題が発生した場合にLSを送付すればよく、まず採択、承認すべきとコメントし、イランが露を支持した。加は、文書にbroadband を使っておりSG5 の意見が必要と発言した。英は、コンテンツ生成についてはSG6 の所掌である事実は変わらないことからSG6 送付を支持した。

議論の結果、研究課題案(6A/TEMP/180)はSG6 へ送付されることになった。

3.2 保護 (SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、4 回会合を実施し、11 件の入力文書について審議、2 件の新レポート案を承認し、5 件のリエゾン文書と2 件の議長レポート添付文書を作成した。

- ・新レポート案「テレビ受信システムの非直線性を考慮したテレビ放送サービスへの干渉検討に使用される参照モデル」

入力文書：6A/360 Annex7(前回議長レポート)

出力文書：6A/TEMP/152(SG6 送付)

審議結果：

Rai Wayから入力されたIMT等からの干渉波によるアンテナ直下のヘッドアンプの非直線性による混変調などの影響を記載したものである。当初、勧告化を提案していたが、前回会合でレポート化することが合意され議長レポートに添付されていた。今会合、他に寄書が無かったため、特段の議論なくプレナリでSG6 送付が承認された。

- ・新レポート案ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS] 「地上放送サービスに利用されている帯域へのコグニティブ無線の導入に関連した両立性と各国のアプローチ」

入力文書：6A/360 Annex14(前回議長レポート)、6A/383(米)

出力文書：6A/TEMP/160(SG6 送付)

審議結果：

前回会合で、レポートのAnnexに地上放送の周波数帯へのCRSの導入に関する複数の国内検討事例を紹介できるアンブレラドキュメントを作成し、各国からの寄与を求めており、今回米より寄与があった。この米寄書に対してイランは、第3章でリパックする周波数について明確にしたいと質問した。米はモバイル無線通信の為の周波数をオークションによって見つけるための取組みを行っており、放送事業者の周波数提供には対価が支払われるが、提供しない場合はリパックされる。放送とモバイル無線通信の両者のニーズを満足できるよ

う進めている段階であり、現時点では周波数の割り当てについては分からないと回答した。英は、国内で同様のことをsecondary reserveと呼んでいること、この情報はWP5Aで入力されるべき内容であるとコメントした。議長は、議長レポート添付文書のAnnexに埋め込み(エンベデッド)することを提案したが、米からは、まだページ数が少ないのでこの段階ではエンベデッドしないことを提案し、合意された。次回のミーティングで引き続き議論することになった。

・ SG1 へのリエゾン文書草案「勧告 ITU-R SM.1541」

入力文書：6A/360 Annex16(前回議長レポート)、6A/387(中)

出力文書：6A/TEMP/158(LS送付)

審議結果：

議長が、勧告SM.1541の地上移動サービスのマスクが古く、最新のIMT、LTEのマスクも無いため、勧告SM.1541を最新の情報に更新する必要があることを他のWPに注意喚起する内容のリエゾン文書案(6A/360/Annex16)について説明した。議長から、中が前回会合の勧告BT.1206に続いて勧告SM.1541でもスペクトルマスクの追加を提案していることについて、両者のスペクトルマスクの違いについて質問があり、SWG1議長が一般的なマスクと特定条件、地域のもとで使用されるスペクトルマスクという区分けになっていると説明した。英は、勧告SM.1541のスペクトルマスクはRRに直結する厳密なマスクであり、厳しい保護を課すリスクとなりうるので、この内容でのリエゾン返書を作成することに慎重になるべきとした。中は6A/387で勧告SM.1541にDTMBのマスクの追加提案をしているが、勧告SM.1541からBT.1206への参照があるのであれば、マスクの追加に関するリエゾン文書は不要とした。議長がSG1に対し勧告SM.1541から勧告BT.1206を参照する改訂を行ってくれたことに対する謝意を表すのみのリエゾン返書を作成することになった。

・ WP1Bへのリエゾン文書草案「勧告草案の作業文書 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]」

入力文書：6A/370 (CCV)、6A/375(WP1B)

出力文書：6A/TEMP/159(LS送付)

審議結果：

議長は、6A/370は、ほとんど参考にならず、CRS、TVホワイトスペースなどの定義はWP6Aに任された形になったと述べた。議長は、現時点ではCRSを使用することを提案した。英は、6A/375にDynamic Spectrum Access (DSA)が使われているとコメントし、今後は、DSAを利用することで一旦合意された。加は、WP1Bでは、DSAは一般的な使われ方をしており、どの業務でもあては

まる一方、WP6Aのケースは、地理的・放送帯域が限定されている事から、DSAが使えるか疑問があるとコメントした。議長は、短波放送周波数では全体の帯域で瞬間的には5%しか使われていないが周波数は時間とともに変わる。CRSはこれと似ており、ある1点の地域では静的動作ではあるが、デバイスが移動すると周波数を変える必要があるとコメントし、DSAで良いのではないかと述べた。CBSは、[on a national basis]の[]の削除を提案し、さらにLS返書を出す必要があるとコメントした。また、WP6A議長は、この時点で用語をCRSからDSAに変更する必要性に疑問を呈した。さらに[]をつけている理由を返書で質問するのが良いとした。加、英は、無線通信規則とNational Basisは、矛盾するとし、[on a national basis]そのものを削除することを提案して合意された。リエゾン文書では、“DSAについては、反対はないが、CRSを長い期間使ってきたことを考慮し、WP6Aではこのまま使い続ける”とし、“放送に特化した用語は必要な時に見直す”とする文案を議長が作成することとなった。

・WP1Aへのリエゾン文書草案「勧告 ITU-T K.60 と K.mhn 有線と無線通信の共存」

入力文書： 6A/364 (WP5B)、6A/365 (WP5A,5C)、6A/366 (WP5A,5C)、6A/372 (ITU-T SG9)、6A/373 (ITU-T SG9)、6A/374 (ITU-T SG5)、6A/409 (SG6 Rapporteur on PLT)

出力文書： 6A/TEMP/179(LS送付)

審議結果：

ラポータのShaw氏(英)が、有線通信からの干渉に関する寄書文書をまとめた文書(6A/409)をもとに、各寄書の説明を行った。寄書(6A/374)については、SG5からのリエゾン文書がWP6Aに対してアクションを求めているので、オフラインのDGで無線通信と無線通信の共存に関するリエゾン文書の内容を検討することになった。また英からは、WP6Aの所掌範囲外であるが、ITU-T会合でUEからSTBへのEMC耐性について確認すべきとのコメントがあった。その他の寄書に関してはNotedとした。

Shaw氏は、オフラインで作成したリエゾン文書草案について以下の通り述べた。

- ・この文書は、直接ITU-T SG5 へ送付するのではなく、ITU-Rの責任グループであるWP-1A に送付するが、内容はITU-T SG5 へ送付するものである。
- ・さらに、勧告ITU-T K.60 には曖昧な点、矛盾点がある。苦情手続きについて記載している一方で、Regulatory Bodyの設置は考慮していないと記載しており矛盾している。この明確化を求める。

・ 勧告K.mhnについては、Radio deviceの定義について記載してあるが、放送の受信機は、送信機能が無いことから 下記 and を orに修正を求めるものである。

the transmission and-or reception of data by using radio waves

・ 勧告K.mhnのscopeが実装マニュアルとなっていることから、本当に勧告として必要か確認する。

さらに、Shaw氏は、勧告K.60 は時代遅れと思われ、新しいEMCに関連する研究を進めていることを考慮する必要があると述べ、CISPRとの情報共有が必要であるとした。

英(Ripley氏)は、WP6Aがこのトピックに関心を持っていることを歓迎し、WP1AからITU-T SG5 に送付するのみではなく、EMC関連であることからCISPRにも確実に送られるべきと述べた。CISPRには、WP1Aから送付するべきとして、Contact PointとなるShaw氏は、WP1AがアクションをおこなうべきであることをWP1A会合にて口頭で報告するとした。

エディトリアル修正の上、プレナリに送付され、リエゾン文書が送付されることになった。

3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3 では、放送と他の業務との共用に関する審議を行った。第 1 回 SWG(3/25)にて、SWG6A-3の下に4つのDG(ドラフティンググループ)を設置した。

DG 6A3-A	Spectrum requirement for DTTB 地上デジタル放送の周波数要求	議長：T. Vieracker氏 (NDR)
DG 6A3-B	Sharing Compatibility Studies 共用と両立性の検討	議長：W. Sami氏 (EBU)
DG 6A3-C	SAB/SAP/BAS characteristics 放送補助業務の特性	議長：T. Vieracker氏 (NDR)
DG 6A3-D	Updates to Work Plan ワークプラン更新	議長：D. Barret氏 (FreeTV Australia)

4回のSWG会合、8回のDG会合(6A3-A：3回、6A3-B：2回、6A3-C：2回、6A3-D：1回)にて17件の入力文書を審議し、8件(6A3-A：1件、6A3-B：2件、6A3-C：2件、6A3-D：1件)の出力文書を作成した。

○地上デジタル放送の周波数要求(WRC-15 議題) 6A3-A

・ 新レポート草案「第1地域とイランにおける470-790MHzの地上放送のための周波数要求」

入力文書：6A/360 Annex 8 (前回議長レポート) 6A/404 (周波数要求に関する

ラポータグループ)

出力文書：6A/TEMP/181(SG6 送付)、6A/TEMP/182(議長レポート記載)

審議結果：

第 1 地域とイランのUHF帯における地デジの利用状況についてWP6A ラポータグループ(R.Bunch議長)が各主管庁、セクターメンバーにアンケートを行った結果を集約し、レポートとして完成を目指したものである。

今会合では、入力文書のマージとアンケート結果を追記する情報更新が行われ、タイトル名を含めたエディトリアルな修正が行われた。イランはタイトルの、694-790MHzとの記載に対し、議論はTV放送のUHF帯すべてであるとし、470-862MHzとすることを提案した。

WP6Aプレナリでは、米がアンケートはWRC-15 議題 1.2 の 694-790MHzに関して行ったものであるため、タイトルの周波数帯を 470-862MHzから694-790MHzに戻す事を提案した。イランは、このレポートはWRC議題から分離され、独立したレポートでありWRC議題とはもはや関連しないとして修正に反対した。米は、AbstractにCPM15-1 を記載しており、WRCとの関連が記載されているとしたが、英は、WRCとは関係無く、694-790MHzに何が起きているのかを各主管庁に報告してもらったものであり、JTGへのリエゾンでもなく、SG6 の中で完結するものであると反論した。米は、694-790MHz以外の帯域は、アンケートに回答した全ての主管庁からの意見が含まれていないのではないかと懸念を示した。英は、このTEMP文書には、JTGに対し以前送付したものの以外にも新しい情報が入っており、今後JTGへ送付するものではない。また多くの主管庁が全ての質問に回答しているわけではないとコメントした。議長はSWG3 議長に、ラポータグループの元々の意図を確認したところ、SWG議長は、レポートを作成し周波数要求を公表することすることであったはずで、多くの主管庁がアンケートで対象周波数以外でも 100MHz以上必要と回答していることからタイトルの周波数を限定する必要はないと回答した。加は、WRCと関連するAbstract削除を提案したが、米はAnnexのRCCからの報告の中でもJTGの単語がつかわれているため、Abstractは残すのがよいとした。EBUは、Abstractの削除、タイトルの周波数削除(UHFとする)のどちらも問題ないとした。最終的に、タイトルの周波数帯をUHFと変更し、Abstractの 1 行目に「In the framework of the activities in support of the preparation」を挿入することで合意されSG6 へ送付された。

○共用と両立性検討 6A3-B

- ・ レポートITU-R BT.2265 改訂草案「放送業務への干渉評価ガイドライン」

入力文書：6A/360 Annex9(前回議長レポート)、6A/397(仏・独・スイス)

出力文書：6A/TEMP/174(議長レポート添付)、6A/TEMP/182(議長レポート記載)
審議結果：

放送業務への干渉評価ガイドラインに関するレポートで、これまでにWP6Aは、WP3Kから2013年3月(6A/198)と7月(6A/283)にまた、WP3Kと3Mから2013年7月に、短時間干渉の相関に関するリエゾン文書を受領し、レポートBT.2265の内容に対する重要な明確化を提供しており、レポートへの反映が必要とされた。しかしながら、レポートBT.2265承認時には、いくつかの主管庁(独、仏、スイス)が複合干渉による検討が不十分として承認に反対したとする意見が脚注に記載されており、WP3K,3Mからの短時間干渉のアドバイスについても慎重に対処する必要があるとして議長レポート添付となっていた。

今回、前回議長レポートに仏の入力文書がマージされ、CBS、仏、独など関係者によるオフライン議論の結果、論点の整理が進んだ。仏は、これまでの努力により問題がほぼ解決されてきたので、次の改訂で仏、独、スイスの保留(reservation)は削除する予定であるとし、独も同意した。CBSはこの修正で非常に大きな成果があり、3国の保留の解除を期待するとした。CBSは、Annex3の3章はExampleでありAppendixとすることを提案し、仏、独は問題ないとした。TERACOMはこの状態での合意に反対し、1章のRealという単語をActualに変更するよう提案するなどし、合意されたが、議長はそれ以上の修正要望は、オフラインで仏、独と行うこととした。議長はまた、Annex2はJTGの経験を受けて修正する必要があると思われるコメントした。残る問題点について、次回会合で議論することとし、議長レポート添付が承認された。

- ・新レポート草案「放送業務と同位の一次業務として分配されたIMTの導入に関する国内事例の報告」にむけた作業文書

入力文書：6A/360 Annex12(前回議長レポート)、6A/396(仏)、6A/402(独)、
6A/406(蘭)

出力文書：6A/TEMP/175(SG6 送付)

審議結果：

放送業務と移動業務がCo-primaryとなっている帯域についての各国の経験について記載したIMT導入のレポート案であり、前回会合で独が入力した文書が基となり、継続審議となっていた。今回、仏と蘭の入力文書がマージされ、独はレポート化を提案する文書を入力した。、マージ文書のドラフティングの他、今会合におけるレポート化について多くの時間が割かれた。

DG議長は、蘭の文書について、未完成であり、情報追加の必要があるのではないかとコメントし、蘭はこれに同意して将来更なる情報の入力を検討するとした。議長は将来、このレポートには、地上波の受信率が高い国からの事例が

より望まれるとした。デンマークはANNEXを提供する準備があるが、次回会合に入力できるかは約束できないとコメントした。英は、携帯基地局での取り組みなどがあるが、ネットワーク構築の途中段階であると発言。米は将来的には提供できる可能性があるが、現在の内容でレポート承認手続きに進める事に賛成するとした。イランは、より多くの事例の入力を募り、現段階では作業文書とすることを提案。独は米同様承認手続き移行を提案した。

米は、これは国内事例のレポートであり、他の国がこれ以上どの部分について議論するのか疑問であるとした。イランは、再度、より多くの入力を募るため時間をかけるべきとした。独は米と同様の意見をコメントした。結果、DG議長はオフラインでの議論とするとした。SG6議長は、以上の議論に対し、これらの事例は非常に有益な情報であり出力するべきであるとコメントした。

イランはタイトルの頭に[Initial]を追加することでこのレポートが初期段階であることを明確にする意図を含め、新レポート草案として今会合でのレポート化にいったんは同意したが、これに対し蘭、仏、デンマーク、独は、他のITUのレポートでタイトルにInitialが含まれるものは無く、また、内容を見れば容易に判断できるとし、タイトルの変更に反対し、蘭、仏、デンマーク、独とイランの意見調整のために長時間の議論が続いた。

イランはさらに、この事例が800MHz帯のものであることを明確にするようにタイトルへの800MHzの記載を提案するなどを提案した。議論の結果、最終的にタイトルからInitialは削除され、レポート本文のIntroductionの説明部分にInitialの文言を入れ、本レポートがまだ更新の余地のあるものである内容が分かる形とし、各Annexのタイトルに800MHz帯の記載をすることでレポート化が合意されSG6へ送付されることとなった。

○放送補助業務の特性 6A3-C

- ・WP6A議長レポート添付文書 勧告ITU-R BT.1871「ワイヤレスマイクのユーザー要求条件」改訂草案

入力文書 6A/360/Annex4(前回議長レポート)、6A/385(韓)、

6A/392(日)、6A/399(加)、6A/408(蘭)

出力文書:6A/TEMP/176(議長レポート添付)、6A/TEMP/182(議長レポート記載)

審議結果:

放送業務、移動業務、固定業務等の帯域で運用される放送補助業務、番組制作補助業務(SAB/SAP, PMSE)として利用されるワイヤレスマイク(日本国内ではラジオマイクと呼ばれる)のユーザー要求条件を規定した勧告BT.1871の改訂提案である。2011年4月会合で豪、11月会合でZDFから改訂提案があり、議長レポート添付となっていた。今会合で日、加、韓から入力された自国の周

波数情報がDG議長によりマージされた。各国の国内事情に基づく情報更新、追加であり、エディトリアルな修正以外に特に議論はなく、更なる情報提供を求めて、議長レポートに添付されることになった。なお、蘭はECCレポート 204の情報を勧告BT.1871 とレポートBT.2069 に反映することを提案したが、多くのエディトリアル修正が必要なため、次回会合以降に勧告BT.1871 への反映を優先して検討することになった。

- ・ WP5Aへのリエゾン返書草案「移動業務における広帯域モバイル通信をENGアプリケーションへの利用」

入力文書 6A/363

出力文書：6A/TEMP/177(LS送付)

審議結果：

WP5Aからの「ENG勧告 ITU-R M.1824 の改訂を検討しており、現在作業文書が作成されている事を述べた上で、この中で広帯域モバイル通信(MBB)をENGアプリケーションへの利用を検討している」とするリエゾン文書に対しての返書となる。DG議長が「情報提供に感謝し、引き続き情報提供を要望する」との内容の文書案を作成し、DGにて審議が行われた。加はずでにIMTネットワークを現用で使い始めているとコメントした。英から対象が限定的になっているとし、議長案に対して、「WP6AはENGシステムの“全ての”情報に興味がある」と“全ての”の文言が追加された。他に特に意見はなく、WP5A(コピーをWP5C、5D)へのリエゾン返書の送付が承認された。

○作業計画更新 6A3-D

- ・ WP7Bへのリエゾン文書「ナノサテライト及びピコサテライトの規則面に関わる検討」

入力文書：6A/371(Working Party of the Special Committee)

出力文書：なし

審議結果：

2013 年のSC-WP会議においてWP7Bから出されたISSUE 9.1.8 に関するリエゾン(WP7Bでのナノサテライト及びピコサテライトの規則面に関する検討状況)への回答文書に関する審議である。特に議論は無く Notedされた。

- ・ WRC-12 決議・勧告に関連する検討の作業計画の更新

入力文書：6A/360/Annex18(前回議長レポート)、6A/405(WRC-12 決議・勧告に関するラポータグループ)

出力文書：6A/TEMP/178 (議長レポート添付)

審議結果：

DG議長の作成したWRC-12 決議・勧告に関連する検討の作業計画更新案を審議した。イランからここで審議する内容はSWG3 関連のみを扱うのか、WP6A 全体について扱うのか質問があり、DG議長はWP6A全体であると回答した。WP6Aの活動状況に、NDRがレポートBT.2215 の改訂を追加することを提案し、来年の2月までに完成とすることが追記され、合意された。

Annex1「Working Party 6A Work Plan for studies between digital terrestrial television broadcasting services and other services」に追加された「Monitor any proposed WRC-18 Agenda Items for a potential impact on broadcasting and respond where appropriate」について、米は、各主管庁が何をするのか不明であり、WP6Aで行う範囲を超えているとして削除を提案したが、英がMonitorという用語となっているので、注視していくだけで実際の作業は不要であり、問題はないとした上で、「Monitor any proposed that could have a potential impact on broadcasting and respond where appropriate.」に変更すること合意された。

Annex3「WP6Aでの検討課題」で、放送事業者が屋外での放送イベント用である全てのENG機器について関心があること、干渉課題の中で時間軸上での解析を可能とするモンテカルロ解析手法の必要性を検討することを追加するという、DG議長からの提案についても合意された。

SWG、WP6Aでは特段の議論はなく、議長レポート添付が承認された。

3.4 その他(SWG 6A-4)

SWG 6A-4 では、非常放送の重要性のレポートや、環境に配慮した放送システム、用語の定義に関する審議を行った。

7 件の入力文書を審議し、出力文書は 4 件(新レポート案と新レポート草案に向けた作業文書、リエゾン文書 2 件)であった。

第 1 回SWG(3/25)に、非常放送に関するDG(ドラフティンググループ)を設置した。

DG EMBC	Emergency Broaqqdcasting 非常放送	議長：G. Stanley氏 (英)
---------	----------------------------------	-----------------------

○非常放送

- ・新レポート草案「一般大衆への警報、災害軽減、救援のための放送」

入力文書：6A/360/Annex6(前回議長レポート)、6A/377(Emergency Broadcasting
ラポータ)、6A/378(伊,バチカン)、6A/380(CBS)、6A/384(米)

出力文書：6A/TEMP/156(SG6 送付), 157(LS送付), 161Rev1(LS送付)

審議結果：

英は、テレビだけを強調するのではなく、放送全体とするべきとして、

Televisionを削除しBroadcastingとすることを提案した。CBSは、周波数の話になると複雑になる。TV, ラジオは、古くから重要なメディアだった。TVは映像で多くの情報を伝送可能である。家を出たら、情報は自ら得る必要がある。放送は高い信頼性がある。これはITUでは長年そうであり、この重要性は継続されるべき。レポート化の作業を完了すべきであると述べた。米は、このレポートは、Technical operation in Broadcastingであり、Spectrumに関する事項は記載すべきではないとしたが、CBSは、Spectrumという単語は7回でてくるが、周波数要求を意味していないと反論した。SG6議長は、broadcastingを terrestrial television and radio broadcasting に変換を提案した。英は、このレポートはWRCのためではなく、ITU-R,ITU-DのDisaster Reliefのためであるとコメントした。議長は、伊とCBSはハンドブックに反映する事を提案しているが、すでにEmergency and Disaster Reliefのハンドブックがあり、ITU-D SG2 が改訂を進めている。SG2 に送付することもできるし、SG6 では勧告BT.1774 を既に制定しており、これにアナログについて記載がある。この勧告と別にデジタル用の勧告を作成するのかと質問した。

SG6議長は、SG2 と情報交換はすべきで、勧告BT.1774 を更新し、IBBSのオートポップアップ機能などを追記すべきとした。このレポートはハンドブックの棲み分けについては、レポートは、より多くの情報を詰め込むことができるがハンドブックは15ページ程度のため。エッセンスの抽出が必要とした。CBSはSG6議長発言を支持し、英は、レポートは半年毎に更新可能だがハンドブックは長期にわたって存在するため安定した文書とすべきとコメントした。

6A/384 で米は、タイトルからImportanceの単語の削除を提案したが、日、CBSが、放送の重要性の主張このレポートの目的であるとして削除に反対した。議長がレポートの目的について質問したところ、SG6議長は、福島やタイでは、放送以外の情報周知が無かった。放送の受信機は特別な状況ではユニークな存在であった、と述べた。。SWG議長は、マレーシア航空の件でもそうであったように、放送だけが重要というのは理解できないとしたが、SG6議長は、非常時だとしてもマレーシア航空のケースは、タイや福島のような広範囲の災害とは異なると反論した。他の業務の重要性を無視するわけではないが、公衆に対しては、放送は特別な存在であると強調した。WP6A議長は、DGで議論すべきとして蘭は、米のタイトル変更を支持した。英はCBS、日を支持した。CBSは、半世紀以上も放送を続けて来た。信頼性については他の業務は、放送ほどはないとコメントした。

SWGでの議論を受けDGでは、以下の修正を加えた作業文書をベースに審議を開始した。

- ・ IntroductionにCBS寄書を追加

- ・ TelevisionにRadioを追加して地上放送一般と修正
- ・ ケーススタディを埋め込み(Embed)
- ・ 9章のリファレンスに決議 53-1, 55-1 を追加

米は決議 644, 646, 647 も追加すべきと発言したが、これらは放送にさほど関連していないと議長は述べ、追加されない事となった。審議のほとんどの時間はタイトルとIntroductionに費やされた。

米は、タイトルからImportanceを削除することを強く支持。蘭も支持した。タイトルに放送のみを他の業務より優位にさせる記載は他の業務とのバランスからふさわしくないとした。

タイトルについては、importance を vital roleとし、Introductionの1行目にImportanceを記載することで一旦合意したが、その後、タイトルは、研究課題 118/6 に従って記載すべきとし、「Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief」で合意した。CBSのIntroductionへの段落追加提案は、元々のIntroductionの重複であるとして追加なしで合意した。

また、脚注追加提案についても、放送全体の紹介は、このレポートの主旨と合わないとして追加されない事となった。レポート案についてはIntroductionにエディトリアル修正を加え、DGで合意。SWGに送付されることとなった。

CBS、伊から提案された勧告作成提案については、具体的な提案が無いため、議長レポート本文に記載することとし、今会合では特段アクションは行わないこととなった。

○環境に配慮した放送システム

- ・ 新レポート草案「環境に配慮した放送システム(Green Broadcasting)」

入力文書：6A/393(日)

出力文書：6A/TEMP/154

NHKと民放の中波放送所に設置された太陽光発電システムを紹介した新レポート案作業文書である。提案は、SG6 議長からレポート化への強い支持があった。引き続き寄与を求めるために議長レポートに添付されることになった。伊は、次回会合に寄与をしたいと述べた。

○CCVの用語の問い合わせ

入力文書：6A/376(ラポータグループ)

出力文書：無し

ラポータグループより、以下の4語(Modulation Error Ratio, Encapsulation function, Delivery function, Control function)について問い合わせがあった。いずれもBT勧告で用いられているものであり、問題無いとしてNotedとされた。

3.5 音声(SWG 6A-5)

SWG6A-5 では、2 回のSWG会合で 4 件の入力文書を審議し、2 件のTEMP文書を承認した。1 件の勧告改訂案、1 件の議長レポート添付文書を出力した。

○ラジオ受信機

- ・勧告改訂提草案「ITU-R BS.774-3、勧告ITU-R BS.1114-7、勧告ITU-R BS.1348-2」

入力文書：6A/388(伊・バチカン)

出力文書：6A/TEMP/153(SG6 送付)

審議結果：

デジタルラジオシステム勧告BS.1114「30-3000MHz帯の移動、携帯、固定受信機のデジタル音声放送システムデジタルラジオシステム」、及び、デジタルラジオサービス要求勧告BS.774「VHF/UHF帯デジタル音声放送の移動、携帯、固定受信機のサービス要求条件」と勧告BS.1348「30MHz以下のデジタル音声放送に対するサービス要求条件」の改訂に関する議論である。

伊、バチカン(6A/388)は、マルチバンド／マルチ方式ラジオ受信機に求める進化した機能を、関連する勧告へ反映させることを提案した。

米はこれらの機能を入れた場合、受信機のコストが高くなるのではないかと懸念を示し、伊は既にチップ化されており、コストは安いと説明した。また、米、イランから、ユーザーが受信機に求めると機能として、電界強度とビットエラーレートの表示機能を記載することに対して懸念が示された。議論の結果、今回提案された3つの機能は、受信機メーカーが考慮すべき機能とすることで合意が得られ、勧告改訂案(6A/TEMP/153)としてSG6 に送られることになった。

○デジタル移行

- ・新レポート草案ITU-R BS.[DSB-TRANSITION]に向けた作業文書

入力文書：6A/360 Annex 13 (前回議長レポート)、6A/382(USA)、6A/407(ラポータグループ)

出力文書：6A/TEMP/155(議長レポート添付)

審議結果：

地上デジタル音声放送やマルチメディア放送への移行を扱う新レポートBS.[DSB-TRANSITION]「デジタル地上音声放送とマルチメディア放送への移行に関する実施検討」の審議である。

前回会合で、露(6A/307)のDRM、米(6A/307、312)のHDラジオに関する寄書を追加した作業文書を議長レポート添付としていた。

米(6A/382)は、デジタル音声放送のシステムC(通称、IBOC)の移動体受信特

性を測定した結果をレポートに含める提案を行った。また、音声ではなく、データキャストに関するものであり、室内実験と屋外実験の両方を載せている。パケットサイズの評価を行い、フェージング環境下ではパケットが小さい方が耐性があるとの実験結果を紹介した。また、音声とデータキャストでのエリアの違いを野外実験で評価し、データキャストの方がエリアが広いとの結果を紹介した。イランは、本レポートは移行の手助けを目的としたレポートであり、実験結果の羅列では、目的を達成できないのではないかと懸念を示した。米は、実際の運用実態を示すためにも、このような実験結果は重要であり、移行の経験、システムに関する技術情報、実験結果などをバランスよくレポートに載せるべきと回答した。ラポータグループでバランスを考えて構成を検討することになった。

ラポータグループ(6A/407)は、DAB、DAB+の紹介と移行状況の追加を提案した。

(6A/382)と(6A/407)の内容を追加し、構成の見直しを行った新レポート草案に向けた作業文書を議長レポート添付(6A/TEMP/155)することとなった。

5. あとがき

今会合で日からは、地上放送に関して 4 件(新レポート草案 1 件、勧告改訂草案 1 件、その他 2 件)、ラジオマイクに関して 1 件(勧告改訂草案)の寄書を入力した。

まず、地上放送に関する新レポート草案の 1 件は、環境に配慮した放送システム(メガソーラーシステム)に関する寄書である。NHKと民放の中波放送所のメガソーラーシステムを紹介した。レポート化のため、“環境に配慮した放送の事例”を他国から更に求めるとして継続審議となった。

勧告改訂草案の 1 件は、ISDB-TとPAL/Iとの混信保護比に関する寄書である。ボツワナで使用されているPAL/I方式とISDB-T(8MHz)の混信保護比を勧告BT.1368 に追加する提案を行い合意された。コロンビアが提案した 6MHzのISDB-TとDVB-T2 の混信保護比がペンディングとなった為、議長レポート添付となり、継続審議となった。

地上放送に関するその他の 2 件は、混信保護比を記載する勧告の基準の明確化、地デジシステムを記載する勧告の基準の明確化に関する寄書である。まず、混信保護比を記載する勧告の基準の明確化として、「希望波が第 1 世代(ISDB-T等)の場合には第 1 世代のプランニング基準勧告に、希望波が第 2 世代(DVB-T2)の場合には第 2 世代のプランニング基準勧告に記載」とする基準を提案した。この提案は、コロンビアが提案した 6MHzのISDB-TとDVB-T2 の混信保護比の分類に反映された。次に、地デジシステムを記載する勧告の基準の明確化として、「第 1 世代の伝送特性(周波数利用効率、所要C/Nなど)を超える場合は、第 2 世代のシステム勧告に割り当てる」という基準を提案した。中が提案している新方式DTMB-Aの特性はDVB-T2 と同等と思われるが、中から、数値をより具体的に明示した割当基準が必要とする意見があり、DTMB-Aの詳細検討とともに次回会合で継続審議することになった。

ラジオマイクに関する勧告改訂草案は、周波数再編アクションプランに基づくラジオマイクの新周波数情報に関する寄書である。日以外にも韓と加から自国の周波数利用状況の更新と追加の入力があり、会合中にマージした。次回会合で勧告改訂する予定である。

今後の会合に向けては、ラジオマイクの技術特性レポートへの新周波数に対応する機器特性の追記検討、実視聴試験による映像破綻検知限C/Nに関する新レポートへのISDB-Tの情報の追記検討、コロンビアが入力したISDB-T(6MHz)とDVB-T2(6MHz)の混信保護比の検証をする必要がある。また、新技術プラットフォームに関する新研究課題の議論、新地デジシステムの世代を分ける基準値の検討が進められており、次世代地上放送システムの研究開発状況の紹介などの寄与も検討する必要がある。

以上

表 1 日本からの出席者 (4 名)

氏名	所属
五十嵐 徹	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長
久代 雄一郎	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
神原 浩平	日本放送協会 技術局 計画部
実井 仁	日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部

表 2 入力文書 (全 71 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/360	Chairman, WP6A	REPORT OF THE MEETING OF WORKING PARTY 6A (Geneva, 12-20 November 2013)	-	Note
2	Ann.1	Chairman, WP6A	list of documents issued	-	Note
3	Ann.2	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1206-1	SWG 6A-1	6A/164
4	Ann.3	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1306-6	SWG 6A-1	再添付
5	Ann.4	Chairman, WP6A	preliminary draft reVision of Recommendation itu-r bt.1871	SWG 6A-3	6A/176
6	Ann.5	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.[ETMMPLAN]	SWG 6A-1	再添付
7	Ann.6	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[EMBC] - THE IMPORTANCE OF TERRESTRIAL BROADCASTING IN PROVIDING EMERGENCY INFORMATION TO THE PUBLIC	SWG 6A-4	6A/156 6A/157 6A/161
8	Ann.7	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL]	SWG 6A-2	6A/152
9	Ann.8	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBSPECREQ]	SWG 6A-3	6A/181
10	Ann.9	Chairman, WP6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION TO REPORT ITU-R BT.2265	SWG 6A-3	6A/174
11	Ann.10	Chairman, WP6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[R-WBR]	SWG 6A-1	6A/163
12	Ann.11	Chairman, WP6A	WORKING DOCUMENT TOWARD PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION]	SWG 6A-1	6A/173
13	Ann.12	Chairman, WP6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT [FIELD_REPORTS_IMT]	SWG 6A-3	6A/175
14	Ann.13	Chairman, WP6A	WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU R BS.[DSB-TRANSITION]	SWG 6A-5	6A/155
15	Ann.14	Chairman, WP6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS]	SWG 6A-2	6A/160
16	Ann.15	Chairman, WP6A	WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BT.2215	SWG 6A-1	6A/168
17	Ann.16	Chairman, WP6A	DRAFT LIAISON STATEMENT TO STUDY GROUP 1 AND WORKING PARTY 1A CONCERNING RECOMMENDATION ITU-R	SWG 6A-2	6A/158

			SM.1541-5		
18	Ann.17	Chairman, WP6A	ESTABLISHMENT OF A RAPPORTEUR GROUP ON “DESIGN AND IMPLEMENTATION OF SINGLE FREQUENCY NETWORKS (SFN)”	SWG 6A-1	6A/172
19	Ann.18	Chairman, WP6A	updates to Work Plan for studies Within Working Party 6A and related to WRC-12 Resolutions and Recommendations	SWG 6A-3	6A/178
20	Ann.19	Chairman, WP6A	LIST OF LIAISON STATEMENTS	-	Note
21	Ann.20	Chairman, WP6A	LIST OF OUTPUT (TEMP) DOCUMENTS	-	Note
22	6A/361	Working Party 6B	REPLY TO LIAISON STATEMENT FROM WORKING PARTY 6A PREPARATION OF PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ON MAIN FUNCTIONALITIES OF CONSUMER RECEIVERS FOR WORLDWIDE BROADCASTING ROAMING	SWG 6A-1	Note
23	6A/362	Working Party 5B	LIAISON STATEMENT TO STUDY GROUP 6 (COPY TO WORKING PARTIES 4A, 4B, 4C, 5A, 5C, 5D AND 6A) DEVELOPMENT OF QUESTION ITU-R 136-2/6 ON WORLDWIDE BROADCASTING ROAMING	SWG 6A-1	6A/162
24	6A/363	Working Party 5B	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 5C, 5D AND 6A THE USE OF MOBILE BROADBAND NETWORKS FOR ELECTRONIC NEWS GATHERING (ENG) APPLICATIONS IN THE MOBILE SERVICE	SWG 6A-3	6A/177
25	6A/364	Working Party 5B	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1A AND ITU-T STUDY GROUPS 5, 9 & 15 FOR ACTION (COPY TO ITU-R WORKING PARTIES 1C, 3L, 4C, 5A, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C AND 7D FOR INFORMATION) COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS (INCLUDING PLT) WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS – CONSIDERATIONS WITH RESPECT TO WORK ON RECOMMENDATIONS ITU-T G.FAST AND ITU-T J.195 (J.HINOC-REQ)	SWG 6A-2	Note
26	6A/365	Working Parties 5A and 5C	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 9 (COPY FOR INFORMATION TO ITU-R WORKING PARTIES 1A, 5B AND 6A) COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS – CONSIDERATIONS WITH RESPECT TO WORK ON RECOMMENDATION ITU T J.195.1 (J.HiNoC-REQ)	SWG 6A-2	Note
27	6A/366	Working Parties 5A and 5C	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 (COPIED FOR INFORMATION TO ITU-R WORKING PARTIES 1A, 5B, 5D AND 6A) DETERMINATION OF THE ITU-T G.fast PSD SPECIFICATION	SWG 6A-2	Note
28	6A/367	Rapporteur Group on development of the Handbook on Digital Terrestrial	Rapporteur Group on development of the Handbook on Digital Terrestrial Television (DTTB) implementation STATUS REPORT ON PREPARATION OF HANDBOOK ON DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION (DTTB) IMPLEMENTATION	SWG 6A-4	Note

		Television (DTTB) implementation			
29	6A/368	Universidad Del País Vasco	A MULTIPATH CHANNEL MODEL TO CHARACTERIZE SIGNAL PROPAGATION IN THE PRESENCE OF A WIND FARM AND POTENTIAL IMPACT TO DTV RECEPTION QUALITY IN THE UHF BAND	SWG 6A-1	6A/166 6A/167
30	6A/369	Universidad Del País Vasco	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION “ASSESSMENT OF IMPAIRMENT CAUSED TO TERRESTRIAL TELEVISION RECEPTION BY A WIND FARM”	SWG 6A-1	6A/166 6A/167
31	6A/370	Coordination Committee for Vocabulary (CCV)	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTIES 1B AND 6A (COPY TO ITU-R WORKING PARTY 5A) DEFINITION AND TRANSLATION OF THE TERM “WHITE SPACE” AND RELATED TERMS	SWG 6A-2	6A/159
32	6A/371	Working Party of the Special Committee	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 7B (COPY FOR INFORMATION TO WORKING PARTIES 4A, 5A AND 6A) WRC-15 AGENDA ITEM 9.1 (ISSUE 9.1.8) Regulatory aspects for nanosatellites and picosatellites	SWG 6A-3	Note
33	6A/372	ITU-T Study Group 9	Liaison statement on coexistence of wired telecommunications with radiocommunication systems	SWG 6A-2	Note
34	6A/373	ITU-T Study Group 9	LIAISON STATEMENT ON COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS – CONSIDERATIONS WITH RESPECT TO WORK ON RECOMMENDATION ITU-T J.195.1 (J.HINOC-REQ)	SWG 6A-2	Note
35	6A/374	ITU-T Study Group 5	LIAISON STATEMENT ON COEXISTENCE OF WIRED TELECOMMUNICATIONS WITH RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS	SWG 6A-2	6A/179
36	6A/375	Working Party 1B	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 6A WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	SWG 6A-2	6A/159
37	6A/376	SG 6 Rapp. on terminology	Report of the Rapporteur on Terminology	SWG 6A-4	Noted
38	6A/377	Rapporteurs on Emergency Broadcasting	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[EMBC] The importance of terrestrial broadcasting in providing emergency information to the public	SWG 6A-4	6A/156 6A/157 6A/161
39	6A/378	Italy and Vatican City State	SOLICITING EARLY APPROVAL AND PUBLICATION OF PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[EMBC] AND POSSIBLE FURTHER UTILIZATION OF ITS CONTENT	SWG 6A-4	6A/156 6A/157 6A/161
40	6A/379	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	PROVISIONAL DRAFT NEW REPORT DESCRIPTION AND MEASUREMENT OF PICTURE FAIL THRESHOLDS USED FOR TV RECEIVER PERFORMANCE MEASUREMENTS IN STATIC CHANNEL CONDITIONS	SWG 6A-1	6A/165
41	6A/380	C.B.S., Inc.	COMMENTS ON DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[EMBC] “THE IMPORTANCE OF TERRESTRIAL BROADCASTING IN PROVIDING EMERGENCY INFORMATION TO THE PUBLIC”	SWG 6A-4	6A/156 6A/157 6A/161

42	6A/381	RG on Main Function. of Consumer Receivers for WBR	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[R-WBR] - Main functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG 6A-1	6A/163
43	6A/382	United States of America	Data transmission performance using digital system C	SWG 6A-5	6A/155
44	6A/383	United States of America	U.S. Annex to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS] - Compatibility issues and national approaches related to the introduction of cognitive radio	SWG 6A-2	6A/160
45	6A/384	United States of America	Proposed revisions to the preliminary draft new Report ITU-R BT.[EMBC] - The importance of terrestrial broadcasting in providing emergency information to the public	SWG 6A-4	6A/156 6A/157 6A/161
46	6A/385	Korea (Republic of)	Proposed modifications to the preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-3	6A/176
47	6A/386	China (People's Republic of)	Draft revision of Report ITU-R BT.2140-6 - Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting	SWG 6A-1	6A/169
48	6A/387	China (People's Republic of)	Proposal of draft revision of Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	SWG 6A-2	6A/158
49	6A/388	Italy , Vatican City State	Radio receivers for broadcasting services- Proposed revision to Recommendations ITU-R BS.774, ITU-R BS.1114 and ITU-R BS.1348	SWG 6A-5	6A/153
50	6A/389	Japan	Clarification of assignment of a newly proposed digital terrestrial television transmission system to existing DTTB Recommendations	SWG 6A-1	Note
51	6A/390	Japan	Proposed modifications to Recommendation ITU-R BT.1368-11 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/171
52	6A/391	Japan	Clarification of Recommendations dealing with protection ratios between the first and second generations of digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	Note
53	6A/392	Japan	Proposed modification of preliminary draft revision to Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-3	6A/176
54	6A/393	Japan	Proposed working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[GREEN_BROADCASTING] - Environment-Friendly Broadcasting Systems (Green Broadcasting)	SWG 6A-4	6A/154
55	6A/394	RG on SFN	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT - Single frequency networks (SFN) design and implementation	SWG 6A-1	6A/172
56	6A/395	France	Measurements for assessing the impact of OOBE as well as short pulse interferences from IMT user equipment to DTTB reception	SWG 6A-1	6A/168 6A/173
57	6A/396	France	Preliminary national field Report on the introduction of IMT downlinks in the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services	SWG 6A-3	6A/175
58	6A/397	France , Germany (Federal Republic of) , Switzerland (Confederation of)	Proposed modifications to ITU-R Report BT.2265	SWG 6A-3	6A/174
59	6A/398	Canada	Revision of Report ITU-R BT.2215 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV	SWG 6A-1	6A/168

			receivers		
60	6A/399	Canada	Revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG 6A-3	6A/176
61	6A/400	C.B.S., Inc.	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2215-3 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers	SWG 6A-1	6A/168
62	6A/401	C.B.S., Inc.	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-10 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/171
63	6A/402	Germany (Federal Republic of)	National field Reports on the introduction of IMT in the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services	SWG 6A-3	6A/175
64	6A/403	Colombia (Republic of)	Planning criteria, including protection ratios, for second generation of digital terrestrial television broadcasting systems in the VHF/UHF bands	SWG 6A-1	6A/170 6A/171
65	6A/404	RG on WRC-15 agenda items	Proposed revisions to [PRELIMINARY] draft new Report ITU-R BT.[DTTBSPRECREQ] - Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1 and the Islamic Republic of Iran	SWG 6A-3	6A/181
66	6A/405	RG for WRC-15 related studies	Fourth Progress Report - Rapporteur Group to undertake WRC-15 related studies called for by CPM15-1	SWG 6A-3	6A/178
67	6A/406	Netherlands (Kingdom of the)	LTE rollout in 800 MHz band, rules and interference cases	SWG 6A-3	6A/175
68	6A/407	RG on DSB	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BS.[DSB-TANSITION] - Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting	SWG 6A-5	6A/155
69	6A/408	Netherlands (Kingdom of the)	New CEPT Report 204 on SAB/SAP	SWG 6A-3	6A/176
70	6A/409	SG 6 Rapp. on PLT Issues	Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunications systems	SWG 6A-2	Note
71	6A/410	RG - New Study Question, new Tech. Platform	Proposal for a possible Draft New Study Question on the new technology platform for broadcasting	SWG 6A-1	6A/180

(注) Note: 情報として取り扱った文書

表 3 出力文書一覧(全 31 件)

	出力文書 番号 (6A/ TEMP)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A)	処理 (Annex)
1	6A/152	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[ACTIVE DEVICE MODEL] - Reference model to be used for the assessment of interference into the television broadcasting service in order to take into account non-linearity in the television radiofrequency receiving system	SWG6A-2	6A/360/An7	SG
2	6A/153	Proposed revision to Recommendations ITU-R BS.774, ITU-R BS.1114 and ITU-R BS.1348	SWG6A-5	6A/388	SG
3	6A/154	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[GREEN_BROADCASTING] - Environment-Friendly Broadcasting Systems (Green Broadcasting)	SWG6A-4	6A/393	C
4	6A/155	Working document towards a preliminary draft new Report	SWG6A-5	6A/360/An13,	C

		ITU-R BS.[DSB-TRANSITION] - Implementation considerations for the transition to digital terrestrial sound and multimedia broadcasting		6A/382, 6A/407	
5	6A/156	Proposed draft new Report ITU-R BT.[EMBC] - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	SWG6A-4	6A/360/An6, 6A/377 6A/378 6A/380 6A/384	SG
6	6A/157	Draft liaison statement to Working Party 1B - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	SWG6A-4	6A/360/An6 6A/377 6A/378 6A/380 6A/384	L
7	6A/158	Liaison statement to Study Group 1 - Recommendation ITU-R SM.1541-5 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	SWG6A-2	6A/360/An16, 6A/387	L
8	6A/159	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	SWG6A-2	6A/370 6A/375	L
9	6A/160	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[CRS_BS_BANDS] - Compatibility issues and national approaches related to introduction of Cognitive Radio Systems within frequency bands used by terrestrial broadcasting services	SWG6A-2	6A/360/An14 6A/383	C
10	6A/161	Draft liaison statement to ITU-D SG 2 - Broadcasting for public warning, disaster mitigation and relief	SWG6A-4	6A/360/An6 6A/377 6A/378 6A/380 6A/384	L
11	6A/162	Reply liaison statement to Working Party 5B - Development of draft new Recommendation on main functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG6A-1	6A/362	L
12	6A/163	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[R-WBR] - Main functionalities of consumer receivers for worldwide broadcasting roaming	SWG6A-1	6A/360/An10 6A/381	C
13	6A/164	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1206-1 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	6A/360/An2	SG
14	6A/165	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[TVSFPQEF] - TV receiver subjective picture failure threshold in static channels and the associated minimum Quasi Error Free levels for good quality reception	SWG6A-1	6A/379	C
15	6A/166	Establishment of a Correspondence Group on "Assessment of impairment caused to terrestrial television reception by a wind farm"	SWG6A-1	6A/368 6A/369	C
16	6A/167	Elements to be considered for inclusion in the revision of Recommendation ITU-R BT.1893 - Assessment of impairment caused to digital television reception by a wind turbine, or for a Preliminary Draft New Recommendation on the assessment of impairment caused to terrestrial television reception by a wind farm	SWG6A-1	6A/368 6A/369	C
17	6A/168	Appointment of a Rapporteur to complete a draft revision of Report ITU-R BT.2215 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers	SWG6A-1	6A/360/An15 6A/395 6A/398 6A/400	C
18	6A/169	Draft revision of Report ITU-R BT.2140-6 - Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting	SWG6A-1	6A/386	SG
19	6A/170	Working document towards draft revision of Recommendation	SWG6A-1	6A/403	C

		ITU-R BT.2033 - Planning criteria, including protection ratios, for second generation of digital terrestrial television broadcasting systems in the VHF/UHF bands			
20	6A/171	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-11 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	SWG6A-1	6A/390 6A/401 6A/403	C
21	6A/172	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[SFN] - Single Frequency Networks (SFN) design and implementation	SWG6A-1	6A/360/An17 6A/394	C
22	6A/173	Working document towards preliminary draft new Report ITU-R BT.[INTERFERENCEDESCRIPTION] - General description of interference into a DTT receiver	SWG6A-1	6A/360/An11 6A/395	C
23	6A/174	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2265 - Guidelines for the assessment of interference into the broadcasting service	SWG6A-3	6A/360/An9 6A/397	C
24	6A/175	[Preliminary] draft new Report [FIELD_REPORTS_IMT] - National field reports on the introduction of IMT in the bands with co-primary allocation to the broadcasting and the mobile services	SWG6A-3	6A/360/An12 6A/396 6A/402 6A/406	SG
25	6A/176	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1871 - User requirements for wireless microphones	SWG6A-3	6A/360/An4 6A/385 6A/392 6A/399 6A/408	C
26	6A/177	Draft liaison statement to Working Party 5A - The use of mobile broadband networks for Electronic news gathering (ENG) applications in the mobile service	SWG6A-3	6A/360/An4, 6A/231	L
27	6A/178	Updates to Work Plan for studies within Working Party 6A and related to WRC-12 Resolutions and Recommendations	SWG6A-3	6A/360/An18, 6A/405	C
28	6A/179	Liaison statement to Working Party 1A (copy to WPs 1C, 5A, 5B, 5C and ITU-T Study Group 5) - Recommendations ITU-T K60 and KMHN	SWG6A-2	6A/374	L
29	6A/180	Draft new ITU-R Question - New technology platform for broadcasting content	SWG6A-1	6A/410	SG
30	6A/181	[Preliminary] draft new Report ITU-R BT.[DTTBSPECREQ] - Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 470-862 MHz in Region 1 and the Islamic Republic of Iran	SWG6A-3	6A/360/An8, 6A/404	SG
31	6A/182	Text for Working Party 6A Chairman's Report	SWG6A-3	6A/360/An4 6A/360/An8, 6A/360/An9 6A/385 6A/392 6A/397 6A/399 6A/404 6A/408	Text

(注)C: 議長報告に添付、L: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、Text: 議長報告本文に文章を記載、Note: 情報として取り扱った文書